

建物の壁には「寄って見てもらって」との文字看板が掲げられている



この日は末崎町の人たちだけでなく、近隣の町からも人々が集い、新たな交流が生まれた



◎居場所ハウス

〒022-0001
岩手県大船渡市末崎町字平林54-1
TEL&FAX 0192-47-4049
OPEN 10:00~16:00 (~21:00)
木曜定休
*ただし、要望により開所します



紀室拓雄さん

居場所ハウス（理事長・近藤均さん、館長・鈴木軍平さん）では、世代を超えた交流がはかられています。大人たちはお茶やコーヒーなどを飲みながら生活の状況を分かち合い、子どもたちは読書や大好きな遊びを通して、親世代や祖父母世代との交流を深めています。地域の人が運営を担う同ハウスで、スタッフの1人として活動しているのが紀室拓雄さん。撮影の数日前、紀室さんに同ハウスの訪問の旨を伝えると、紀室さんははじめスタッフの人たちは地域の人々に参加を呼びかけ、当日は末崎町の近隣の町からも多くの人が集ってくれました。

「ここに来るすべての人が、以前より少しでも楽しい気持ちになれるように、元気になるように。ただただその思いで、皆で力を合わせて活動しています。心の復興が地域の復興につながる、と信じているのです」（紀室さん）

*「3・11」生命の記憶——子どもたちへのメッセージ」は本誌36ページに続きます

いのち 3・11 生命の記憶

——子どもたちへのメッセージ



岩手県大船渡市末崎町 「居場所ハウス」

2013年6月に誕生した居場所ハウス（米国のハネウェル社が出資、NPO法人「居場所」創造プロジェクトが管理）。ここでは、地域のさまざまな世代の人たちが集い、団らんのひとときをすごしています。

写真／穴戸清孝

